

はあとのあと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

珠洲市総合病院

TEL (0768) 82-1181

FAX (0768) 82-1191

2012(2)
第26号



病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- | | |
|----------------|---|
| ・地域医療に携わって | 1 |
| ・高規格救急車収受式 | 2 |
| ・健康診断のご案内 | |
| ・血管造影装置を更新しました | 3 |
| ・4月からのニューフェイス | 4 |



例年よりも春陽の訪れがゆっくりで、幾分寒さの残る今日このごろですが、珠洲市の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回は私が地域医療に携わって感じたことや課題などを述べたいと思います。

私の珠洲市総合病院での勤務は2年目に突入しました。それまでは、石川県立中央病院や市立輪島病院、舳倉島診療所などに勤務していました。能登の方は気持ちの温かい方が多いように思います。当院に受診に来られる方も心のお優しい方が多く、心が和まされます。また、食べ物やお酒なども美味しく、とても魅力的な地域であるように思います。

しかしながら珠洲市の人口は減少の一途をたどっています。その一方で、高齢化率（65歳以上の人口の割合）は40%前後と年々増加傾向です。当院のような地域の中核病院で内科を受診される患者さんの特徴は、高齢者が圧倒的に多く、合併している疾患が多岐にわたっている点が挙げられます。また、常勤医のいない他科（精神科、皮膚科、泌尿器科など）の患者さんを担当することも多いため、様々な知識が必要とされます。マムシに咬まれた方や肺結核の方など地域ならではの患者さんを担当することもありました。

能登北部病院のこれからの課題は山積しています。例えば急性心筋梗塞や大動脈疾患などで緊急で専門的な治療が必要となった場合、1~2時間以上かけて患者さんを七尾や金沢のより高度な医療機関へ搬送することになるのですが、冬の雪の多い日などは通常の倍近く搬送に時間を費やすこともあり、それだけ患者さんに負担をかけてしまうことがあります。脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患においても同様で、当院には脳神経外科の浜田先生が常勤されていますので、血管内治療も含めて様々な脳血管疾患には対応できます。しかし、その他の能登北部医療圏内の病院では、脳神経専門の常勤医がいないため、緊急性の高い疾患を治療するためには、七尾市の患寿総合病院や公立能登総合病院へ搬送しなければならず、かなり時間を費やしてしまうというのが実情です。

また、他の診療科が閉鎖しているという問題もあります。かつて当院には皮膚科医や泌尿器科医が常勤していましたが、現在は非常勤で外来のみの対応となっており、その分内科医への負担も増加しています。

そして、高齢化がますます進む地域において、今後一番の課題となってくるのは、終末期を迎える患者さんの最期をどのような形で迎えるかということです。認知症の進行や脳梗塞などで寝たきりとなり、口から食事が取れないという状況に陥ったとき、以前は胃瘻を造設するという選択をとる傾向にありました。しかしながら、果たしてそれが本人および家族にとって本当に幸せな選択なのかは、考え直す必要があります。胃瘻を作れば取り敢えずは栄養を補給できるため、作らないよりも生命予後は延びます。しかし、人間らしい生活の期間は延長できる訳ではなく、むしろ介護を担う家族や地域住民への身体的・精神的・社会的・経済的な負担を増すことになりかねません。また、在宅へ帰ることが難しく、社会的入院が増えていくと、ベッドが満床となり、本当に入院治療が必要な方が入院できないという状況にも陥ってしまいます。「胃瘻は造設せずに在宅で家族に見守られながら安らかに息を引き取る」という昔から続いていた、ごく自然な最期の迎え方を選択しても良いのではないのでしょうか。それは都会とは違って、家族や地域住民との繋がりが深い土地だからこそできることだと思っています。もちろん個人個人の社会的事情や価値観によって異なることですので、じっくりと本人や家族と話し合っていくことが大切ですし、介護サービスの充足や開業医の先生方との連携も重要です。

私は今年で30歳になります。まだまだ経験の浅い若輩者であり、このような死生観を語ることは差し出がましいことかもしれませんが、能登の病院に勤務し始めてから深く考えるようになりました。地域の皆様にとってより良い意思決定のお手伝いができるように励みたいと思っています。

高規格救急車収受式

3月19日、珠洲市農業協同組合から寄贈された高規格救急車の寄附収受式が行われました。これは、JA 共済「地域の安全・安心プロジェクト」によるもので、今回は地域医療体制の充実を目的に寄附されました。

収受式では、南逸郎珠洲市農業協同組合代表理事組合長から泉谷市長に目録が贈呈されました。泉谷市長は「より一層、地域医療の充実に努めていきたいと思います。ありがとうございました。」と感謝の意を述べ、南組合長へ感謝状を手渡しました。



今回寄贈された高規格救急車は人工呼吸器や除細動装置、心電図モニターなどを装備しており、医師が医療行為を行いながら搬送できるため、珠洲市における地域医療現場での活躍が期待されます。

珠洲市総合病院では今回の寄附に深く感謝し、この高規格救急車を活用して、地域の皆様により安心を提供できる病院を目指して参ります。



健康診断のご案内

健診室

◆ 事業所の皆様方へ ◆

みなさんが加入する全国健康保健協会では、被保険者のみなさんを対象として、**生活習慣病予防健診**を実施しています。

当院健診室でも、全国健康保健協会管掌生活習慣病予防健診を行っています。今年度の健康診断の申し込みがまだでしたら、ぜひ、当健診室を御利用ください。また、その他、各種健康診断も行っています。当健診室までお問合せください。

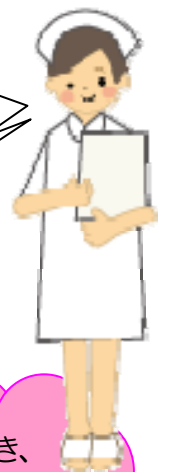


生活習慣病予防健診？
どんな健診？

どんな検査が
ありますか？

35歳以上の被保険者の方を対象とする、メタボリックシンドロームの予防と改善の為に健診です。

血液検査の他にもいくつかの検査があります。



生活習慣病予防健診内容：

身体計測・視力検査・聴力測定・血圧測定・尿検査
検便・血液検査・胸部レントゲン・胃カメラ
心電図検査・医師による診察

健診結果にもとづき、健康相談・お食事などのアドバイスもいたします。ぜひ、御利用ください。

詳しくは、健診室（Tel82-1181）までお問い合わせください。



■血管造影検査とは

体の中にある血管は、血液を送るためあらゆる臓器に張り巡らされています。病気を知る上で血管との関係は極めて重要です。しかし、血管と周りの組織ではエックス線の吸収が等しく、そのままでは血管を画像として捉えることができません。そこで造影剤を血管内に注入し、腫瘍や血管の狭窄などを知ることができます。

- 動脈瘤・静脈瘤・動静脈奇形・動脈硬化・血栓性による狭窄および閉塞
- 脳・心臓・肝臓・四肢など腫瘍性病変の診断

また、最近では検査と同時に治療をすることが多くなりました。

- 血管の狭窄を拡げる血管拡張術、閉塞を再開通させる血栓溶解術、腫瘍を栄養する動脈を閉塞させる動脈閉塞術

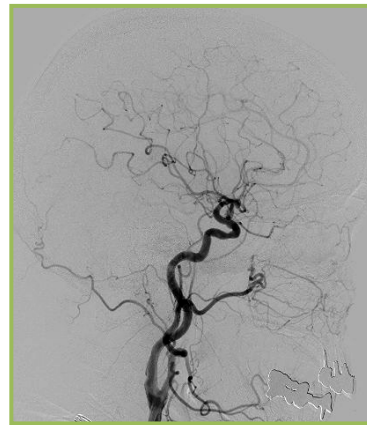
■検査方法

足の付け根、あるいは腕や手首からカテーテルと呼ばれる細いチューブ（直径数mm、長さ50~120cm）を血管に入れていきます。この時、皮膚に局所麻酔をします。検査時の痛みはこの麻酔の注射の痛みだけでほかには苦痛は殆どありません。

体に入ったカテーテルの動きをエックス線で透視しながら目的の血管まで進めます。造影剤と呼ばれる薬を注入し、血液の流れを連続的に撮影します。造影剤を注入するときは、局所的にほてったように感じたり体が熱く感じたりしますが、一時的なものです。すぐに治りますので驚かず体を動かさないように気をつけます。

例) 頭部の場合

検査台に仰向けに寝て検査を受けます。脳血管の撮影ではFPD(フラットパネルディテクタ:受像部)をできる限り頭に近づけて、頭の周囲を回転し、あらゆる方向から撮影します。



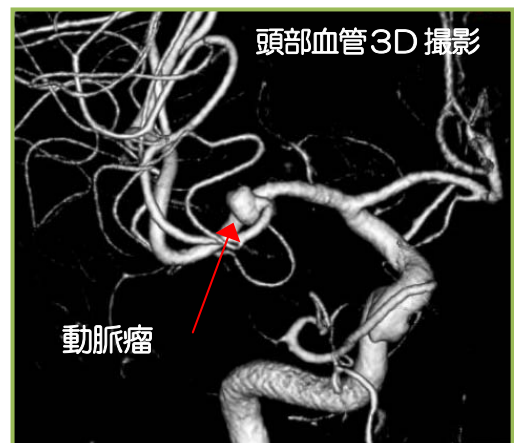
この画像は脳の血管を頭の横から見たものです。画像の左側が後ろ、右側が前になります。多数の細かい血管があり、主に動脈瘤などの病気を診断しています。

脳に出血があった場合や動脈の一部がコブ状に腫れてできる脳動脈瘤の位置形態や大きさなど手術前に確認するために行なっています。



■血管造影装置が新しく変わって・・・

- ・画質がきれい：透視が見やすくなり、細かい血管まで観察できます。
- ・3D撮影：体内の血管が立体的に観察できます。
- ・広い視野：FPDが大きくなり、一回の撮影で広範囲が観察できます。
- ・全身の検査に対応：患者さんの体を動かすことなく、足先から頭の先まで位置合わせが可能になりました。



4月からのニューフェイス

4月からの医師6名を紹介します。 ①名前 ②担当科 ③出身地 ④抱負など一言



- ① なかしま けいすけ
中島 啓介
- ② 内科（循環器）
- ③ 小松市
- ④ 市民の方に満足していただける医療を目指します。



- ① ふじ くにひろ
辻 国広
- ② 内科（消化器）
- ③ 加賀市
- ④ 2年ぶりの珠洲病院の勤務となります。消化器全般を担当しておりますので、これからよろしくお祈いします。



- ① てらもと りょうた
寺本 了太
- ② 内科（循環器）
- ③ 金沢市
- ④ 皆さんのお役に立てるよう精いっぱいがんばりますので、よろしくお祈いします。



- ① てらい しろう
寺井 志郎
- ② 外科
- ③ 金沢市
- ④ 外科医としてまだまだ至らぬ点もございますが、精いっぱいやらせていただきますので、よろしくお祈い致します。



- ① みやなが しょうへい
宮永 章平
- ② 外科
- ③ 小松市
- ④ 昨年度までは金沢大学病院に勤務していました。明るく楽しくをモットーに、皆さんに元気のおすそ分けができたらなと思います。これからよろしくお祈いします。



- ① よしい あいの
横井 彩乃
- ② 小児科
- ③ 金沢市
- ④ 3月までは石川療育センターに勤務していました。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお祈いします。



今年度もニューフェイスが加わりました!!
リハビリ…角井、三上、栄養科…松田、地域医療連携室…赤坂の4名です。まだまだ不慣れな点もあるかと思いますが、これまでに学んだ知識や技術をさらに磨いて、地域の皆さんに安心と信頼を提供できるようにがんばります!!



外来受診手順

I. 受付

初診 総合案内で診察申込書を記入し、保険証と一緒に提出してください。カルテと診察券をお渡ししますので、診療科窓口に保険証と一緒に提出してください。

再診 直接、診療科窓口の受付箱（診察または薬）に診察券を提出してください。



II. 診察・検査

診察・検査を受けられる場合は、手荷物等の貴重品は必ず持ってお入りください。
全ての治療が終わりましたら、診療科窓口より診察券を受け取り、会計窓口へお持ちください。

III. 料金支払い・薬の受け取り

会計窓口に診察券をお出しください。診察券を出された順にお呼びします。薬のある方は、『薬の引換券』をお渡ししますので、薬局で薬をお受け取りください。お薬の番号は、薬局TV画面にて案内しております。

外来診療日程

平成24年4月1日現在

午前 受付時間 7:30~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科		月	火	水	木	金	
内科	1 診	波佐谷	追分	波佐谷	循環器 ※第1週 辻	波佐谷	
	2 診	追分	寺本	南	追分	中島	
	3 診	寺本	辻	追分	中島	南	
外科		坂本	寺井	坂本	宮永	寺井	
呼吸器外科							小田(ほか)
小児科		和田	横井				
耳鼻咽喉科		榊田	吉田	榊田			
整形外科		伊藤・高木					
産婦人科		山城					
脳神経外科		浜田	河原/長谷川	浜田			
泌尿器科		月曜日診療(月曜日が休日の場合、火曜日診療) 栗林/八重樫/角野/中嶋					
皮膚科		越後		永岡	尾高 診療開始 10:00~		
精神科			西村	西村			
健診室		佐々木					

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00

診療科		月	火	水	木	金
内科	1 診	佐々木	中島	佐々木	南	循環器 1日/月(金大D)
	3 診					
小児科		三種混合	慢性疾患	健診・予防接種		
耳鼻咽喉科		榊田				榊田
眼科					馬渡・山田(隔週) 受付 15:00まで	馬渡 受付 15:00まで
産婦人科		産後2週間健診	健診	産後2週間健診		

小児科

- (月) 三種混合 15:00~15:30
- (火) 慢性疾患 14:00~16:00
- (水) 健康診断 14:00~
予防接種 15:00~

産婦人科

- (月)(金) 産後2週間健診 14:00~
- (水) 産後1ヶ月健診 13:30~

その他

- (水) 糖尿病予防教室 14:00~15:00
- (月)~(金) 医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

※表示日程は都合により、一部変更になる場合があります。

※午後の初診の方は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。

編集後記

肌で春を感じる日が増えてきましたね。春は異動の季節でもあります。当広報委員会も次号からメンバーが変わります。しかし、皆さんに愛して頂ける広報誌を作ることに変わりはありません！今後も応援よろしくをお願いします！ 茶☆豆

